議 長 日程第12「議案第20号令和3年度松田町介護保険事業特別会計予算」を議題といたします。

町長の提案説明を求めます。

町 長 議案第20号令和3年度松田町介護保険事業特別会計予算。令和3年度松田町介護保険事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)第1条、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ11億427万7,000円と定める。2、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(債務負担行為)第2条、地方自治法第214条の規定により、債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第2表 債務負担行為」による。

(歳出予算の流用)第3条、地方自治法第220条第2項ただし書の規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 保険給付費の各項に計上した予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

令和3年3月2日提出、松田町長 本山博幸。よろしく申し上げます。

議 長 町長の提案説明が終わりました。担当課長の細部説明を求めます。

福 祉 課 長 それでは、令和3年度介護保険事業特別会計の説明をさせていただきます。

まず414ページをお開きください。第2表債務負担行為でございます。地域包括支援センターシステムのリース期間満了に伴う、新たなシステム賃借料を令和3年度から令和8年度、限度額724万7,000円で設定させていただくものでございます。

それでは、歳入歳出事項別明細書により説明をさせていただきます。420ページ、421ページをお開きください。歳入から説明をさせていただきます。

款の1、保険料、項の1、介護保険料、目の1、第1号被保険者保険料。予算額は2億2,332万2,000円、前年度比較361万3,000円の減です。65歳以上の第1号被保険者数は3,734人を見込んでおります。所得に応じた第1段階から第

12段階の保険料率により、お納めいただくこととなります。

説明欄を御覧ください。節の1、現年度分特別徴収保険料は2億719万7,000円、前年度比較421万円の減でございます。年金収入が年額で18万円以上の方が対象となります。節の2、現年度分普通徴収保険料は1,561万2,000円、前年度比較67万4,000円の増。節の3、滞納繰越分普通徴収保険料は51万3,000円を計上しております。

款の3、国庫支出金でございます。予算額は2億4,074万円。項目ごとに法定割合に応じた額を計上しております。

項の1、国庫負担金、目の1、介護給付費負担金につきましては、歳出の保険給付費のうち、居宅給付費の20%分を施設給付費の15%を国が負担すると定められております。

項の2、国庫補助金でございます。目の1、調整交付金につきましては、国庫分25%のうち、その年の調整率に応じた額を、目の2、介護予防等地域支援事業交付金につきましては、歳出における地域支援事業のうち、介護予防・生活支援サービス事業に従事する保健師の人件費などの25%を計上しております。目の3、包括的支援等地域支援事業交付金につきましては、地域包括支援センターの業務を担う職員の人件費など、包括的支援等地域支援事業経費分の38.5%を計上しております。続きまして、目の4、保険者機能強化推進交付金は、高齢者の自立支援、介護予防重度化防止、給付費の適正化に資する取組に応じて交付金として交付をされるものです。目の5、こちら新たに来年度から追加されるものでございますが、介護保険保険者努力支援交付金でございます。介護予防・日常生活支援総合事業や、地域包括ケアに関連する在宅医療、介護連携等に関する取組に対して新たに交付されるものでございます。

款の4、支払基金交付金は40歳から64歳までの第2号被保険者保険料を支払基金交付金として収入するものでございます。

1枚おめくりください。422、423ページでございます。款の5、県支出金でございます。予算額は1億5,116万1,000円、国庫と同様に項目ごとに法定割合を計上しております。

次に、款の6、繰入金でございます。予算額は1億7,691万円、こちらも項目ごとに町のほうより、町の一般会計より法定割合を繰り入れるものでございます。

1枚おめくりください。424、425ページでございます。款の8、繰越金でございます。予算額は4,000万円を見込んでおります。

続きまして、歳出について説明をいたします。426、427ページをお開きください。款の1、総務費、項の1、総務管理費、目の1、一般管理費は、予算額1,972万9,000円。主なものといたしましては、説明欄のほうで御説明をいたします。大事業1、職員給与費でございます。職員給与費では介護保険料賦課徴収や、介護給付に携わる職員2名分の給与費ほかを計上しております。

次のページをお開きください。428、429ページでございます。項の3、介護認定審査会費、目の1、認定調査費等は、予算額884万4,000円。主なものは主治医の意見書に関わる手数料と要介護認定訪問調査の会計年度任用職員の給与費でございます。目の2、介護認定審査会費では、636万8,000円につきましては、9月までは足柄上衛生組合に事務局を置き、10月より1市5町で構成する、南足柄市に事務局を置きます、足柄上地区介護認定審査会で認定を行ってまいるのでございます。

次のページ430、431ページをお願いいたします。款の2、保険給付費でございます。予算額9億7,824万4,000円、前年度比較3,119万1,000円の減でございます。項の1、介護サービス等諸費は、負担金補助及び交付金として、居宅介護サービス給付費以下、第8期介護保険事業計画においてそれぞれ試算された額を計上しております。項の2、高額介護サービス費は、利用者の介護保険給付費の月々の負担が上限額を超えた場合に給付されるものでございます。

次のページをお開きください。432、433ページでございます。項の4、特定入所者介護サービス費でございますが、主に所得が低い方が施設サービスを利用した場合に、自己負担限度額を超えた分について給付される経費でございます。項の5、高額医療合算介護サービス等費は、医療費と介護費の両方が高額となった世帯に自己負担限度額を超えた分を支給し、負担を軽減するものでござ

ございます。

款の3、基金積立金は利子分を計上しております。

次のページをお開きください。434、435ページでございます。款の5、地域支援事業費です。予算額5,985万6,000円、前年度対比329万1,000円の増でございます。説明欄を御覧ください。大事業1、職員給与費として、担当する保健師、社会福祉士の人件費を計上し、一般管理経費においては地域包括支援センターで行う包括的支援事業や、介護予防支援に関わる事務経費を計上しており、地域包括支援センターのシステム賃借料、保守点検委託料などが主なものでございます。

次のページをお開きください。436、437ページでございます。目の2、介護予防・生活支援サービス事業費でございます。説明欄を御覧ください。大事業1、サービス事業費のうち、(1)訪問型サービスは、町直営の訪問型介護予防事業として、栄養管理士・作業療法士の訪問や、生活機能低下が疑われる高齢者に対して、栄養改善・口腔機能等向上事業を。(2)の通所型サービスは、生活機能低下が疑われる高齢者に対して、運動機能向上事業を実施し、また、社会福祉協議会の事業であるミニデイサービスへの事業補助金を計上いたしております。(3)生活支援サービスですが、食のアセスメント事業として、栄養改善を目的とした配食、見守り、安否確認を進めるための経費を計上しております。続きまして、介護予防ケアマネジメント事業費でございますが、介護予防・生活支援サービス利用者のケアマネジメントを行うための経費を計上しております。目の3、一般介護予防事業費では、火曜体操会、呼吸法運動教室、筋力向上教室など、介護予防事業を継続して実施するための経費を計上しております。

1ページおめくりいただき、438、439ページをお願いいたします。目の4、包括的支援事業・任意事業費は、次ページにまたがりませんが、地域包括支援センターの運営経費のほか、権利擁護、介護相談員の派遣などの経費、また、足柄上1市5町共同で開設しました在宅医療・介護連携支援センターの運営に関わる経費のほか、生活支援体制整備事業として社会福祉協議会と協働で事業に

取り組むほか、認知症総合支援事業で認知症施策を実施してまいるものでございます。

442、443ページをお願いいたします。款の6、予備費でございます。予備費につきましては3,037万1,000円を計上しております。

以上、歳入歳出総額11億427万7,000円となります。なお、444ページから447ページにわたり給与費明細書を、448ページに債務負担行為に関わる調書を掲載しております。後ほど御高覧ください。

説明は以上でございます。御審議のほど、よろしくをお願いいたします。

議 長 担当課長の細部説明が終わりました。これより質疑に入ります。

7 番 南 雲 441ページの下段のほうにあります、6番の生活支援体制整備事業の中の委託料、生活支援コーディネーター業務委託料として296万6,000円上がっていますけれども、令和2年度の予算は114万1,000円だったんですね。2倍以上上がっている理由と、またそれに対しての効果、見込まれる効果等のことをお伺いいたします。

福 社 課 長 それでは、南雲議員の御質問にお答えいたします。まず、生活支援体制整備事業でございますが、こちらは主に単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中で、医療・介護サービスの提供のみならず、地域住民に身近な存在である市町村が中心となって、NPO法人であるとか、ボランティアの方、社会福祉協議会、また地縁組織であるとか、介護サービス事業所等々の地域資源と言われる方々にですね、連携をしながら、生活にお困りの方の支援をしていくものでございます。その中で生活支援コーディネーターというものを置きまして、各地域資源の連携ですとか調整を図っていくものでございます。こちら来年度から社協とですね、今まで、今おっしゃられたように、114万円ほどの予算であったものが大分増えているという御指摘でございますが、こちらのほうは社協のほうとですね、協働して、今まで町で担っていた部分を社協のほうにウエートを移しまして、より充実した生活支援体制を整備していこうというものでございます。説明としては以上でございます。

議 長 よろしいですか。ほかにございますか。

この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論に入ります。

(「省略」の声あり)

討論を省略して、採決を行って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を省略し、採決を行います。議案第20号令和3年度松田町介護保険事業特別会計予算について、原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。